

止まり木



令和7年（2025年）

10月20日発行

第24号

大阪市立野田中学校

努力は必ず成長に！



先週金曜日に実施した文化発表会。まさに芸術の秋にふさわしい1日になりました。午前中の舞台発表の部では合唱コンクールをはじめ、パソコン部の発表や音楽部の発表に心躍りました。始まりの音楽が流れだすと、自然に静かになり舞台を注目する鑑賞態度も素晴らしいかったです。

開会の時にこんな話をしました。

『合唱とは字の通り、唱を合わせるということで、カラオケボックスなどで自分の好きなように好きな歌を歌うのとはわけが違います。合唱では、歌詞を合わせ、メロディーを合わせるのはもちろんのこと、心を合わせることが大切になります。そして、コンクールですのでどうしても賞をとれるクラスと取れないクラスが出てきます。しかし、この賞を取るというのは目標であって目的ではありません。行事は、成長がともなってこそ価値があります。

いくら賞を取っても、成長がともなっていなければ、合唱コンクールは、価値のない行事になってしまいます。では、合唱コンクールで得られる成長とは、いったい何なのでしょうか。

それは、自分やクラスの絆を表現する喜びを感じることや努力すれば、必ず上達できると実感することだと思います。一人一人が、伝えたい内容を心にえがき、様々なことを頭に思い浮かべ表現することで、幸せを感じられるのが合唱コンクールです。「努力は、必ず成長へつながる」ということを一人一人が実感できるような合唱コンクールを目指し、この体育館にみんなの素晴らしいハーモニーが響き渡ることを期待しています。』と。

その通りの素晴らしい合唱ばかりでした。そんな中で課題曲の最優秀賞に輝いた1年3組、2年1組、3年2組。そして、自由曲で最優秀賞に輝いた1年2組、2年3組、3年1組の皆さん、本当におめでとうございました。本当に素晴らしいかったです。さらに、ベストピアニスト賞、ベストコンダクター賞を勝ち取った皆さん、努力の成果が表れていました。選ばれなかった人たちも含め、本当に素晴らしいかったです。パソコン部の映像による、「ここは学校のどこでしょうクイズ」も正解が出たたびに歓声が上がり、盛り上がっていました。音楽部のミュージカル「千と千尋の神隠し」、想定外の場面で想定外の動きによって笑いが起こりましたが、しっかり演技に取り組んでいました。そして、何よりも途中途中で唄う合唱にはいつものことながら、心搖さぶられました。

閉会式の時には「歌う」の語源について話しました。所説はありますが、「歌う」の語源は「訴える」だそうです。つまり「訴える」は、古い言葉では「うつたふ」と言い、その音が変化して「歌う」となったそうです。だから人の心に訴えるというように、「歌う」とは、**自分の気持ちを声に出して伝える**という意味があるのです。みんなの歌声は、まさにその歌声に乗せて、聞いている多くの人の心を揺さぶる。素晴らしいものでした。

もう一つ、合唱に関する名言を一つ紹介しました。それは、「『あなたはうまい』と言われるよりは、まずは『あなたの隣は歌いやすい』と言われるようになろう。」です。これは学級や学年、部活動、そして学校など、集団生活をする上でもとても大切なことだと思います。だから明日からは「あなたの隣は過ごしやすい」。といえる関係を広げていってほしいと思います。

そういう関係が広がることがいつも言っている「止まり木のような学校」を創ることにつながります。

午後からの展示見学では、日頃の学習の成果や部活動での成果を見学することができました。力作が多く、丁寧に仕上がった作品からみんなが、真剣にまた、本気で作品に向き合った様子がよくわかりました。そしてもう一つ感動したことがあります。それは、みんなの見学態度です。みんなが作品を大切に扱いながら素直に楽しんでいる姿に校長先生は、感動しました。

さあ、これからも人を思いやる優しい心、互いを認める心をもって、みんなで素晴らしい、「野田中ハーモニー」を奏でていきましょう。期待しています。